

## 有機農業技術のつぼ

作物名	野菜全般
対応技術の項目	施肥技術
	土壌・施肥改善法
	自家製ぼかし肥料の利用

《情報収集先の経営概要等》

伊達市 赤間農場（代表：仙場敦子） 経験年数37年（うち有機年数37年）  
 経営耕地面積 0.79ha（全面有機）

こまつな	0.03ha	キャベツ	0.15ha
ほうれんそう	0.07ha	ねぎ	0.10ha
きゅうり	0.09ha	ささげ	0.02ha
レタス	0.07ha	その他野菜	0.20ha
にんじん	0.06ha		

労働力 家族2人  
 有機JAS認定の取得状況 平成13年取得

問題点

収量レベルが低かった

- 有機栽培への移行当初、稲わら等の植物質の堆肥を使用していたため、収量レベルが低かった。

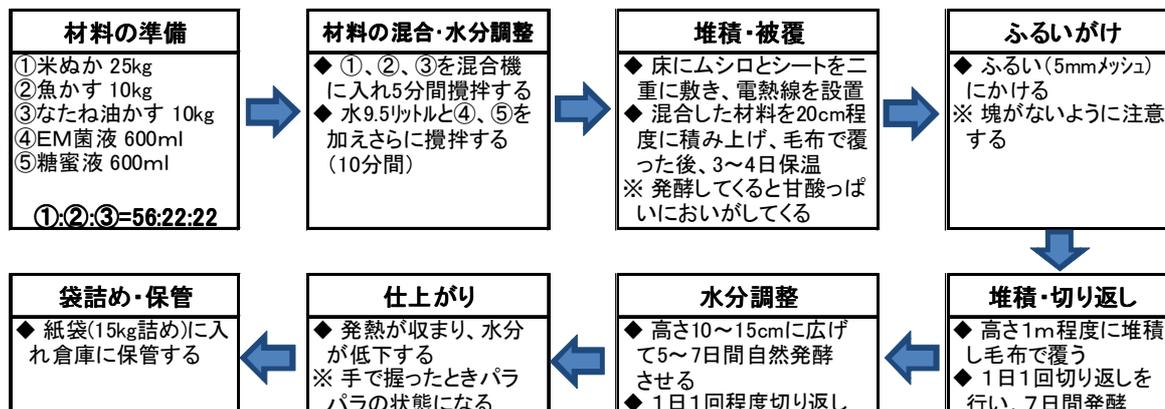
対応

自家製のぼかし肥料を導入した

つぼ

- ぼかし肥料は、米ぬか、魚かす、なたね油かすを主原料に、EM菌液と糖蜜液を添加し、発酵させて製造した。（下図参照）

自家製ぼかし肥料の製造工程





混合した材料は20cm程度に積み上げる



自家製ぼかし肥料の完成品

- 野菜の生育に必要な養分は、ぼかし肥料のみでは不十分なため、発酵鶏ふんも同時施用している。



ぼかし肥料と発酵鶏ふん施用で野菜の生育は安定

ぼかし肥料と発酵鶏ふんの施用量

作物名		肥料施用量(kg/10a)	
		自家製ぼかし肥料	発酵鶏ふん
施設	こまつな	67	250~300
	ほうれんそう		
	小かぶ		
	レタス		200
露地	キャベツ	100	200
	レタス		
	ねぎ		

## 成 果

### 収量が増加した

- 収量が50%以上増加し、安定化した。
- 品質（おいしさ）も向上した。
- ※ 土壌病害対策と土づくりのため、緑肥（エン麦）も導入している。